

平成29年12月
さいたま市の財政



つなが電
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、平成28年度の決算の概要と平成29年度上半期の財政状況をお知らせします。

もくじ

- 1 平成28年度決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 平成29年度歳入歳出予算の執行状況
 - ・一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ・特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 平成29年度予算の使い方と市税負担・・・・・・・・・・ 7
- 4 財産、地方債及び一時借入金の現在高・・・・・・・・ 8
- 5 公営事業の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1 平成28年度決算の概要

決算の特徴

- ◆平成28年度は、市民満足度のさらなる向上を図るため、「総合振興計画」の後期基本計画を推進するとともに、選ばれる都市を実現するための「さいたま市成長戦略」、新たに策定した「さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係るそれぞれの事業を着実に実施しました。
- ◆「しあわせ倍増プラン2013」、「行財政改革推進プラン2013」の最終年度の総仕上げとして、各取組について全力で推進しました。
- ◆特に、「教育」「環境」「健康・スポーツ」の分野で、本市の良さや強みを生かしながら、将来を見据えて、「子育て支援」、「安心・安全」といった施策に重点的に取り組みました。
- ◆歳出決算額は、本市誕生以来最大の規模でした。

決算の総額

一般会計

教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

福祉

教育

土木

など

歳入 4,609億円

歳出 4,512億円

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には15の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

歳入 3,214億円

歳出 3,181億円

企業会計

民間企業と同じように、原則的に事業の経費は事業に伴う収入で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

収入 929億円

支出 1,102億円

全会計合計

歳入(収入) 8,752億円

歳出(支出) 8,795億円

主な事業

①次代を担う人材をはぐくむ「若い世代をアシスト」

特定教育・保育施設の整備【決算 33億9,439万円】

保育所等利用待機児童の解消を図るため、賃貸物件による保育所整備の補助を新たに拡充するなど、保育需要の高い地域において保育所等を整備し、定員を増やしました。



②市民一人ひとりが元気に活躍する「スマートウエルネスさいたま」



さいたま国際マラソン開催事業【決算 2億8,026万円】

市民マラソンにより健康増進を図るとともに、世界トップレベルの選手の走りを体感することで、市民のスポーツに対する意欲、関心を高め、「スポーツのまち さいたま」を国内外にアピールできる市民マラソンと国際女子マラソンを「さいたま国際マラソン」として同時開催しました。

③新しい価値を創造し、革新（イノベーション）する「産業創出による経済活性化」

東日本連携・創生事業【決算 1,331万円】

東日本の広域的な連携による地方創生に向けた東日本連携・創生フォーラムの開催及び連携事業を実施しました。



④自然と共生しながら、都市の機能を向上する「上質なくらしを実現できる都市」



環境未来都市推進事業【予算 3,273万円】

運輸部門の低炭素化と災害時の輸送手段確保のため、電気自動車(EV)に加え、燃料電池自動車(FCV)など、次世代自動車の普及を促進しました。

⑤みんなで安全を支える「安心減災都市」

流域貯留浸透事業【決算 5,681万円】

降雨が短時間で河川に集中し、浸水被害を起こす可能性が高まっているため、公共施設(小中学校・公園等)に降った雨を一時貯留、浸透させる施設を設置しました。



このほかにもさまざまな事業に取り組みました。
また、現場の声を政策に反映するために、市政の最前線である各区役所からの提案事業にも取り組みました。

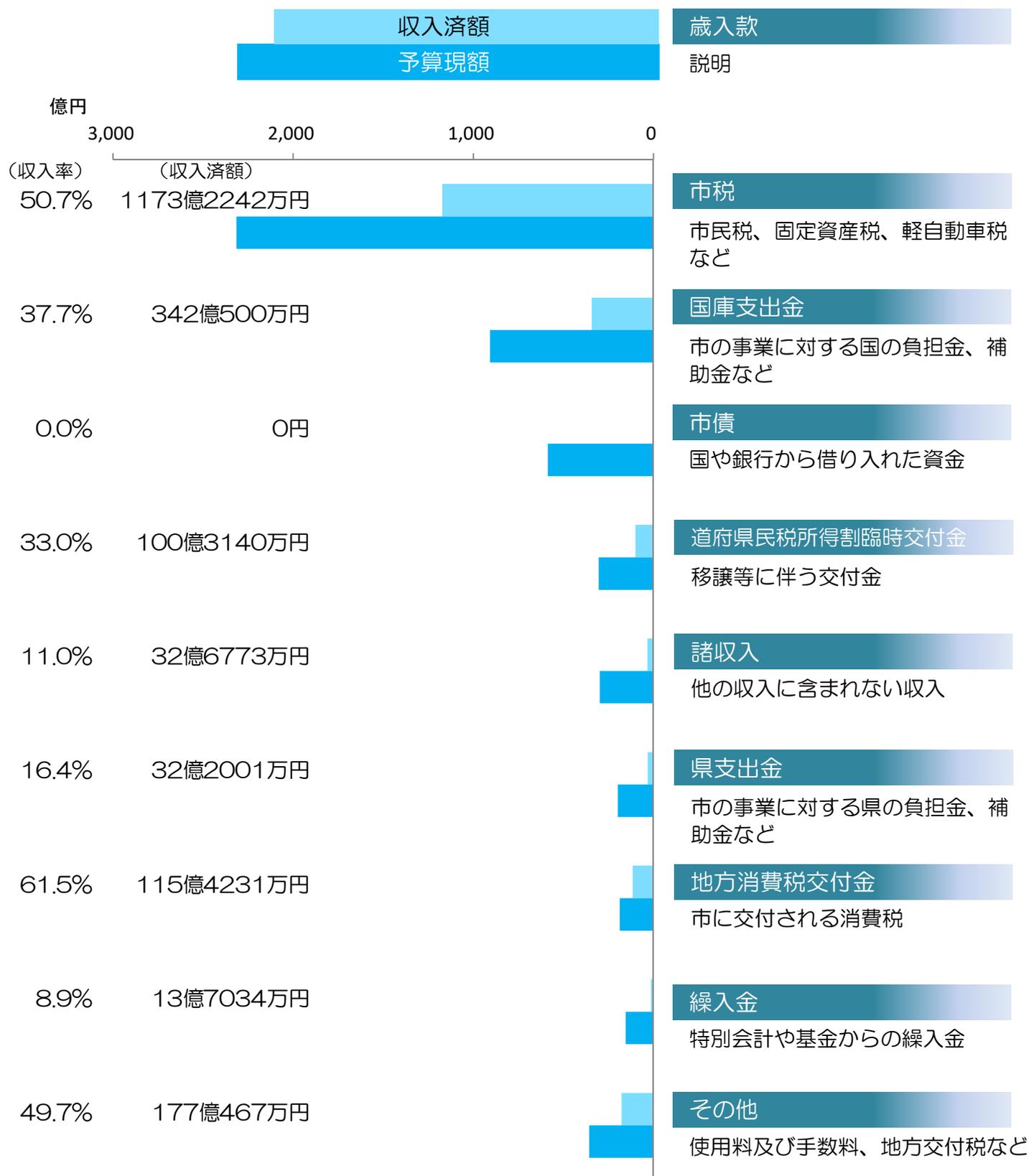


2 平成29年度歳入歳出予算の執行状況

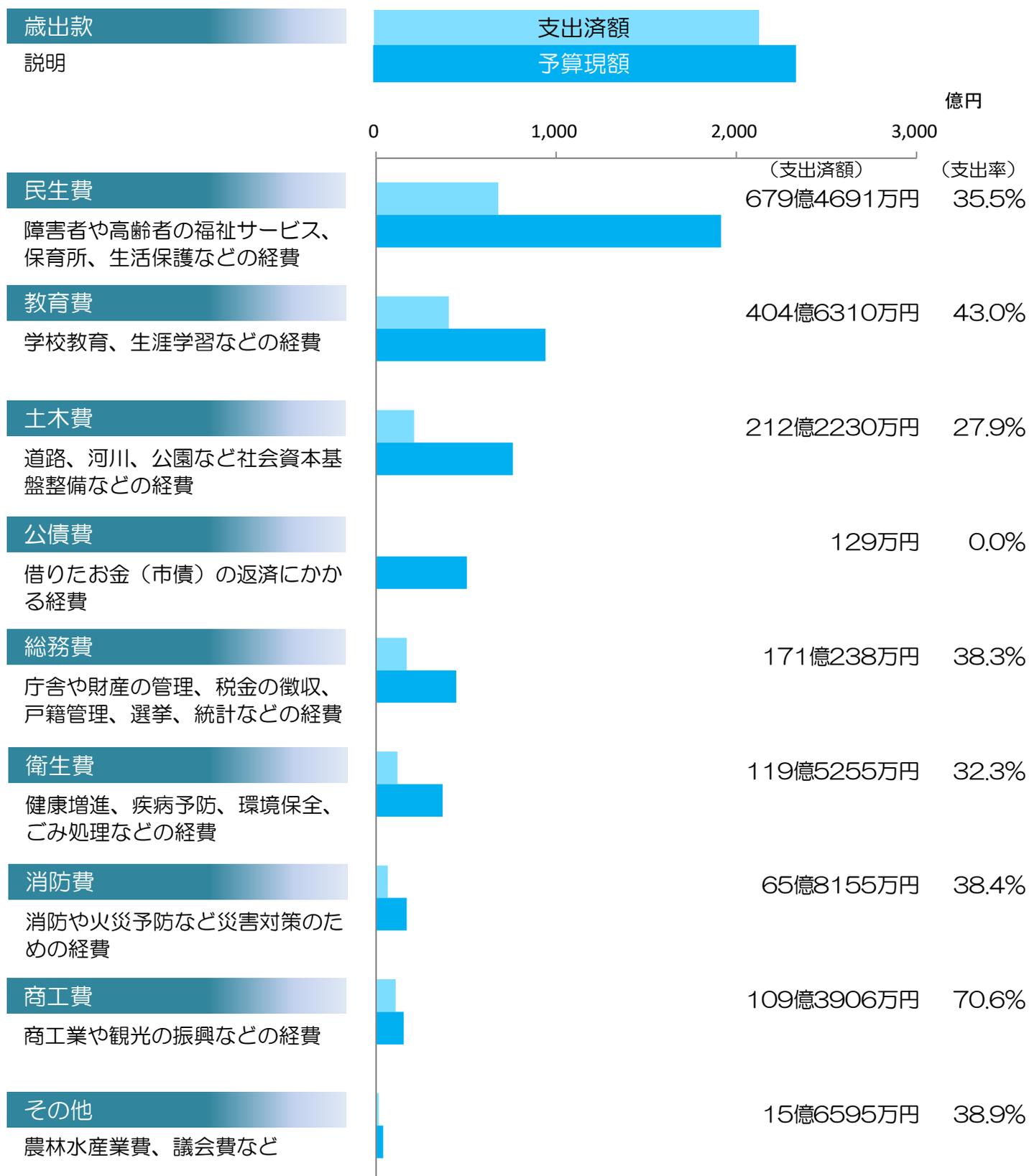
一般会計

※予算現額は、当初予算額に補正予算額と前年度繰越額を加えた平成29年9月末の予算額を表します。
補正予算額には、9月末時点で成立していないものは含まれていません。

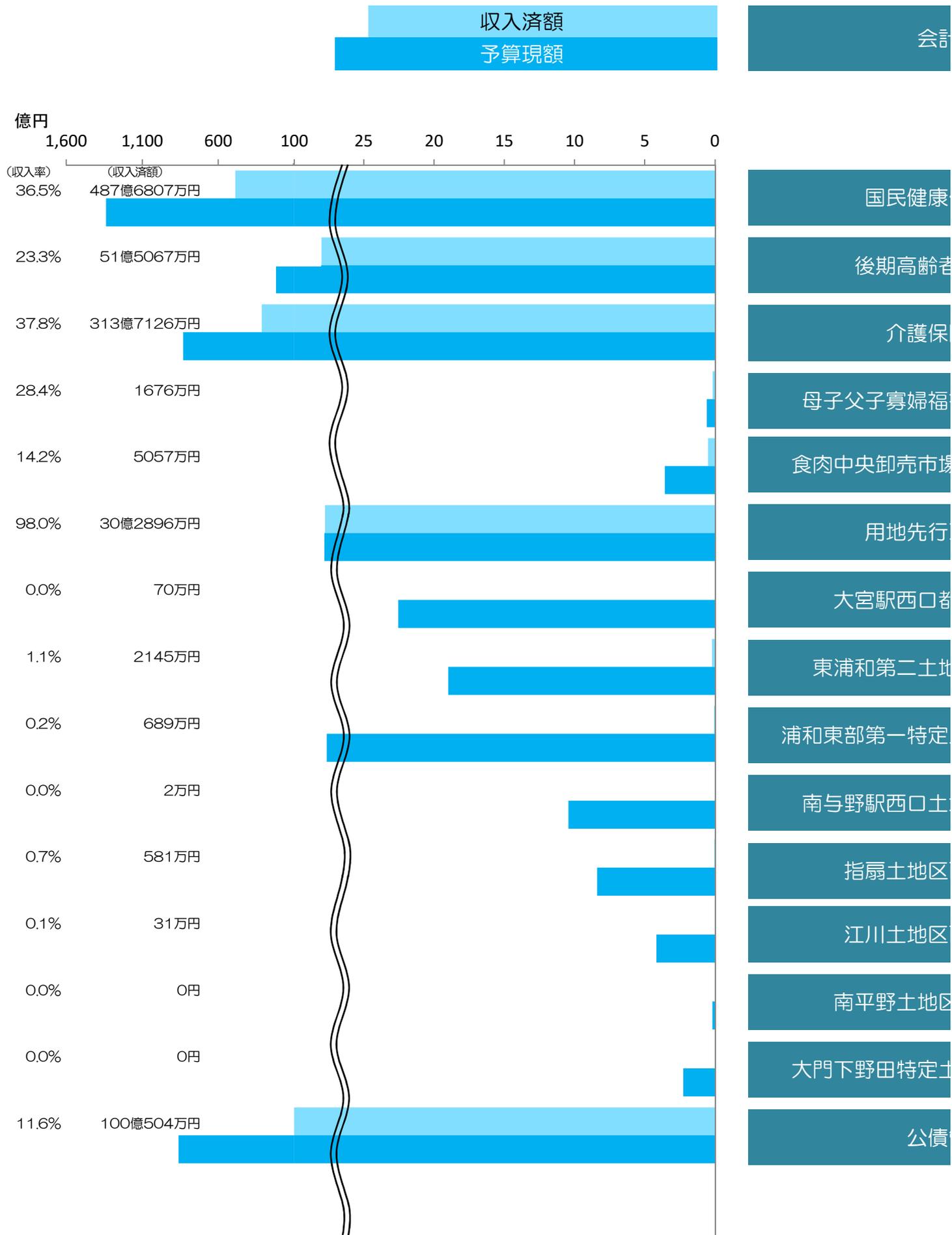
$$\text{歳入} = \frac{\text{収入済額 } 1986\text{億}6388\text{万円}}{\text{予算現額 } 5302\text{億}7668\text{万円}} = \text{収入率 } 37.5\%$$

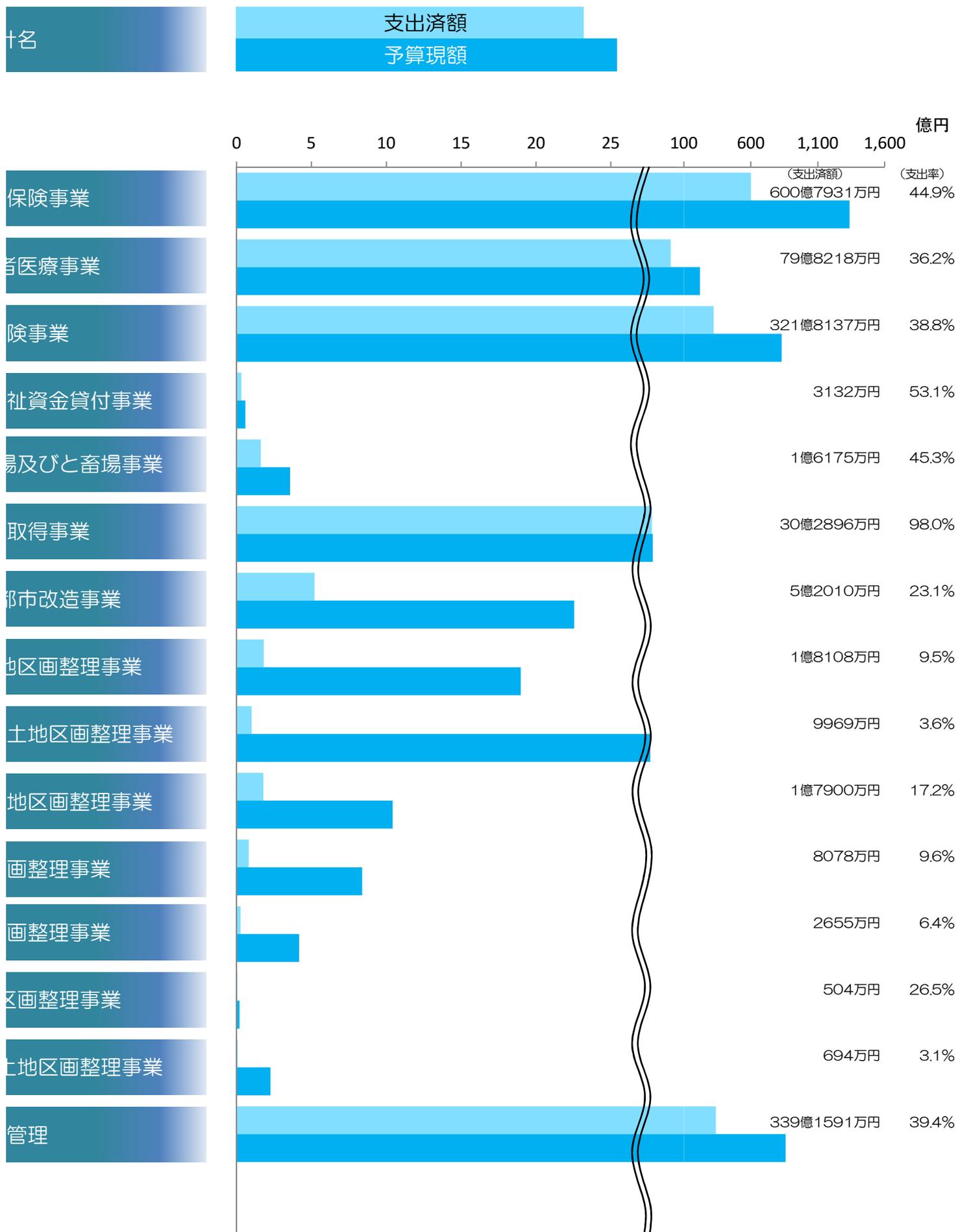


$$\text{歳出} = \frac{\text{支出済額 } 1777\text{億}7509\text{万円}}{\text{予算現額 } 5302\text{億}7668\text{万円}} = \text{支出率 } 33.5\%$$



特別会計





3 平成29年度予算の使い方と市税負担

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



148,396円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

410,906 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※平成29年10月1日現在の人口（1,290,505人）を基に算出（以下同様）

2

教育費



72,916円

3

土木費



58,890円

4

公債費



39,067円

5

総務費



34,567円

6

衛生費



28,683円

7

消防費



13,267円

8

商工費



12,004円

その他

農林水産業費
議会費
労働費
予備費
災害復旧費

3,116円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

179,347 円

市民税



90,435円

固定資産税



64,532円

都市計画税

13,840円

市たばこ税

6,106円

事業所税

3,486円

軽自動車税

945円

その他

3円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

財産



その他の財産

区分	9月末現在高	単位
公有財産	立木	7,274.00 ㎡
	物権	267,972.98 ㎡
	動産	なし
	無体財産権	9 件
	有価証券	9,684,100,000 円
	出資による権利	1,634,407,715 円
	不動産の信託受益権	なし
物品	3,998 点	
債権	3,253,444,391 円	

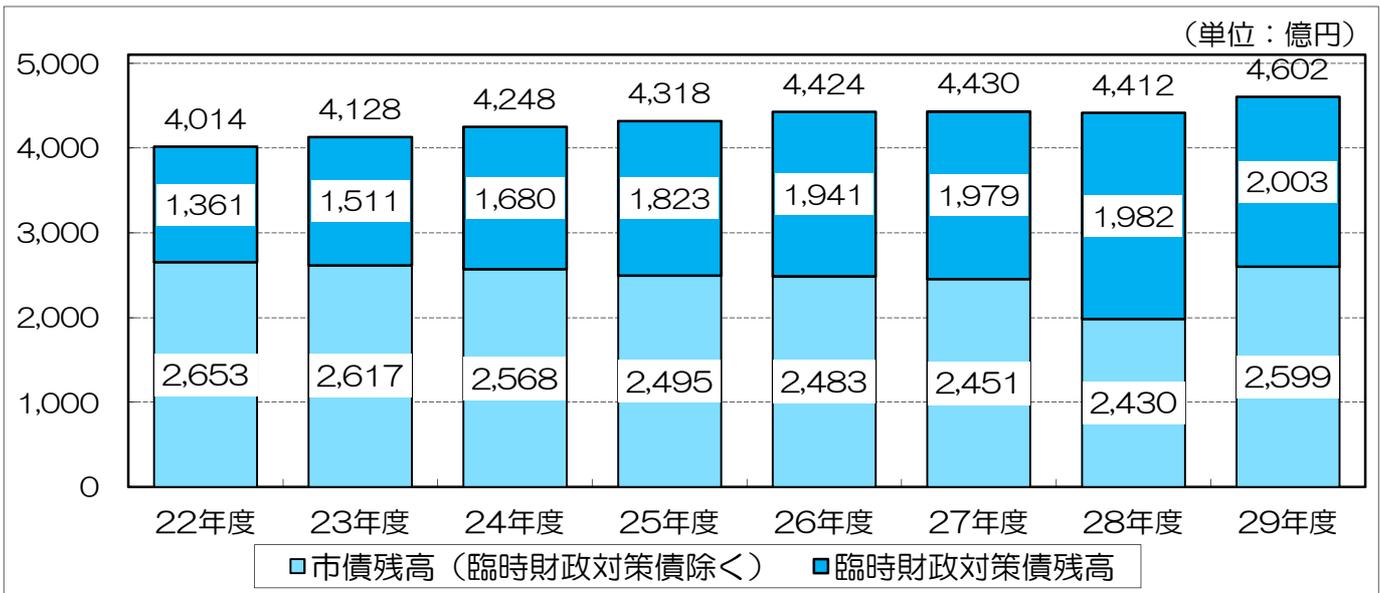
※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

地方債

(単位：千円)

会計	平成29年3月末現在高	平成29年4月～9月借入額	平成29年4月～9月償還額	平成29年9月末現在高	
一般会計	441,203,864	0	20,509,905	420,693,959	
特別会計	13,925,460	0	1,393,266	12,532,194	
企業会計	水道事業	53,618,857	0	2,327,062	51,291,795
	病院事業	2,895,001	0	101,213	2,793,788
	下水道事業	180,026,749	0	4,523,064	175,503,685
合計	691,669,931	0	28,854,510	662,815,421	

(参考) 市債残高の推移



※平成28年度までは決算額、平成29年度は見込額

一時借入金

平成28年度下半期に引き続き、平成29年度上半期における借入れはなく、平成29年9月末現在の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 公営事業の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっており、これらに係る財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、平成26年12月に改訂した、さいたま市水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

平成28年度決算の概要

決算額 42,792,857千円

(単位:千円)

水道施設整備事業	8,970,109
水の安定的な供給を図るための施設整備を推進しました。	

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっていることから、中期経営計画に基づいた、医療機能の充実と健全経営の確立を図る必要があります。

また、施設及び設備が老朽化しており、安定した医療提供体制の維持と、医療機能を強化するために、施設の更新を行い、地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療の提供や、高度医療機器の整備、緩和医療を含めた診療体制の充実などを図っていく必要があります。

平成28年度決算の概要

決算額 18,963,480千円

(単位:千円)

市立病院施設整備事業	341,779
市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施しました。	

市立病院エネルギーセンター更新ESCO事業	2,380,349
安定した医療機能を確保するため、老朽化した市立病院のエネルギーセンターについて、ESCO事業を導入しながら更新し、5月から供用を開始しました。	

市立病院高度医療機器整備事業	216,822
質の高い医療の提供及び病院機能拡充のため、人工心肺装置の入替等医療機器を整備しました。	

下水道事業

基本方針

1. 計画的な事業の推進

限られた財源で十分な投資効果が得られるよう、効率性の確保や計画的な下水道事業の推進を図ります。また、下水道施設の維持と安定的なサービス提供のため、計画的な維持管理事業の推進も図ります。

2. 経営の健全化への取組の推進

事業全般について点検や見直しを行い、経費の削減を図り、一般会計からの繰入金に依存しない独立採算の経営を維持するため、様々な取り組みを推進します。

平成28年度決算の概要

決算額 48,459,335千円

(単位:千円)

下水道汚水事業	3,154,511
未整備地区については、さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の下水道整備を推進しました。	

下水道浸水対策事業	4,324,669
浸水被害の軽減を目的とした雨水管、貯留施設等のハード対策を引き続き実施するとともに、市民の自助及び共助の促進を目的としたソフト対策を行いました。	

下水道施設老朽化対策事業	3,146,663
下水道総合地震対策計画に基づき、緊急輸送道路下の管さよ等重要な幹線の対策を優先的に実施し、老朽化した施設については、予防保全の観点から計画的な改築更新を実施しました。	
また、老朽化した中継ポンプ場等の予防保全を図るため、長寿命化対策として改築更新を実施しました。	

■ 経理の概況 (平成29年度上半期) (単位:千円)

科目	金額
資産	218,391,673
(1) 固定資産	198,510,066
(2) 流動資産	19,881,607
負債	89,916,686
(1) 固定負債	52,314,992
(2) 流動負債	6,341,623
(3) 繰延収益	31,260,071
資本	121,993,787
(1) 資本金	106,639,806
(2) 剰余金	15,353,981
収益	14,451,115
うち営業収益	14,390,316
費用	7,466,812
うち営業費用	6,849,317
整理勘定(中間勘定)	503,103

(単位:千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	15,594,508	47.9%	7,918,452	28.5%
資本的収支	267,441	6.7%	5,199,468	26.3%

■ 事業の概況 (平成29年度上半期)

項目	前年同期	当期	増減率
給水件数	586,218	594,165	101.4%
給水量 (m ³)	65,637,630	65,998,400	100.5%
一日平均給水量 (m ³)	358,676	360,647	100.5%

■ 経理の概況 (平成29年度上半期) (単位:千円)

科目	金額
資産	16,998,597
(1) 固定資産	11,078,945
(2) 流動資産	5,919,652
負債	7,696,872
(1) 固定負債	5,500,109
(2) 流動負債	922,754
(3) 繰延収益	1,274,009
資本	9,694,562
(1) 資本金	8,385,733
(2) 剰余金	1,308,829
収益	7,089,313
うち医業収益	6,953,375
費用	7,234,165
うち医業費用	7,061,801
整理勘定(中間勘定)	247,985

(単位:千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	7,099,040	43.7%	7,351,733	45.3%
資本的収支	0	0.0%	973,556	13.9%

■ 事業の概況 (平成29年度上半期)

項目	前年同期	当期	増減率	
病床数	567	567	100.0%	
入院患者数	一般病床	81,967	81,458	99.4%
	結核病床	1,390	1,414	101.7%
一日平均入院患者数	一般病床	447.9	445.1	99.4%
	結核病床	7.6	7.7	101.3%
外来患者数	117,198	115,057	98.2%	
一日平均外来患者数	952.8	927.9	97.4%	

■ 経理の概況 (平成29年度上半期) (単位:千円)

科目	金額
資産	414,496,863
(1) 固定資産	405,948,340
(2) 流動資産	8,548,523
負債	277,451,672
(1) 固定負債	168,338,698
(2) 流動負債	9,483,214
(3) 繰延収益	99,629,760
資本	132,448,636
(1) 資本金	130,559,775
(2) 剰余金	1,888,861
収益	12,495,437
うち営業収益	12,484,920
費用	3,366,751
うち営業費用	2,120,161
整理勘定(中間勘定)	4,532,131

(単位:千円)

	収入		支出	
	執行額	執行率	執行額	執行率
収益的収支	13,165,944	51.0%	3,516,458	14.0%
資本的収支	610,678	2.4%	9,742,909	24.8%

■ 事業の概況 (平成29年度上半期)

項目	前年同期	当期	増減率
汚水処理戸数	487,667	498,382	102.2%
汚水処理水量 (m ³)	68,166,540	68,310,360	100.2%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	372,495	373,281	100.2%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は57円（概算）です。

平成29年12月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1153~1155